2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月30日

上場会社名　日本精線株式会社　上場取引所　東
コード番号　5659　URL　http://www.n-seisen.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 新貝　元
問合せ先責任者　(役職名) 経理部長　(氏名) 長澤　修一　TEL 06-6222-5432
四半期報告書提出予定日　2020年2月7日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	26,180	△11.7	1,369	△55.6	1,419	△55.2	997	△54.9
2019年3月期第3四半期	29,634	5.8	3,080	△0.8	3,171	1.5	2,212	1.0

(注) 包括利益　2020年3月期第3四半期　1,143百万円　(△49.6%)　2019年3月期第3四半期　2,268百万円　(△8.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	162.63	―
2019年3月期第3四半期	360.77	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	42,150	31,274	73.3
2019年3月期	42,227	30,467	71.5

(参考) 自己資本　2020年3月期第3四半期　30,887百万円　2019年3月期　30,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	―	70.00	―	60.00	130.00
2020年3月期	―	35.00	―		
2020年3月期(予想)				45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2020年 3月期の連結業績予想(2019年 4月 1日～2020年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△9.7	1,800	△49.4	1,800	△51.0	1,250	△52.6	203.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更･会計上の見積りの変更･修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	6,492,293 株	2019年3月期	6,492,293 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	358,717 株	2019年3月期	358,499 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	6,133,734 株	2019年3月期3Q	6,133,849 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P．2「1．当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が消費増税に伴う駆込み需要の反動や大型台風の影響などにより下振れに転じました。また非製造業の見通しは弱含みのまま推移しており、製造業は依然として在庫の高止まりや輸出、設備投資の低迷などにより、力強さを欠く展開が続いています。

世界経済も米中貿易摩擦の長期化による中国経済の減速と欧州経済の停滞、更にはイランをはじめとする中東情勢の緊迫化など、景気の先行き不透明感が強い状況となっています。

当社及び連結子会社（以下「当社グループ」という。）が属するステンレス鋼線業界は、世界的な自動車生産・販売の減少などの影響で、業界出荷数量は前年同期比減少となりました。

ＬＭＥニッケル価格については、インドネシアにおけるニッケル鉱石の禁輸措置などによりポンド当たり８ドル超まで騰勢を強めましたが、その後中国を中心とする世界景気の後退感が増して軟調に推移、第３四半期末には６ドル台前半まで落ち込みました。

このような状況の中、当社グループでは連結経常利益55億円、連結ＲＯＳ及び同ＲＯＡ10％以上などを経営目標とする『第14次中期計画（ＮＳＲ20）』（最終年度2021年３月期）の達成に向け、収益の向上に取り組んでまいりました。

主力のステンレス鋼線部門は、極細線や耐熱ボルトなど一部の高機能・独自製品が在庫一巡による顧客からの引合いも見られました。しかしながらステンレス鋼線市場全体の需要動向の減少傾向は続き、減産を余儀なくされました。販売数量は前年同期に比べ減少し、売上高は前年同期比9.1％の減収となりました。

金属繊維部門では、ナスロンフィルターは化合繊維や高機能樹脂用途など、低迷が続き減収となりました。超精密ガスフィルター(ナスクリーン)は半導体需要が回復基調となり、半導体製造装置・ガスメーカーからの引合いが増え、販売数量は持ち直しつつあります。その結果、金属繊維部門の売上高は第２四半期末から減収幅が縮小し、前年同期比23.5％の減収となりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は前年同期比11.7％減収の261億80百万円となりました。損益につきましてはステンレス鋼線、ナスロンフィルターなどが振るわず、営業利益13億69百万円（前年同期比55.6％減）、経常利益14億19百万円（同55.2％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益９億97百万円（同54.9％減）と前年同期比減益となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、421億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少しました。流動資産は258億39百万円となり、４億８百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の減少（５億47百万円）などです。固定資産は163億11百万円となり、３億31百万円増加しました。

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は、108億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ８億84百万円減少しました。流動負債は63億83百万円となり、９億87百万円減少しました。主な要因は未払法人税等の減少（４億84百万円）や賞与引当金の減少（３億46百万円）などです。固定負債は44億92百万円となり、１億３百万円増加しました。

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は、312億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ８億７百万円増加しました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績は概ね2019年10月30日公表の予想どおりに推移しており、業績予想に変更はございません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,338	10,791
受取手形及び売掛金	7,968	7,721
商品及び製品	2,274	2,212
仕掛品	3,099	3,237
原材料及び貯蔵品	1,441	1,464
その他	125	412
流動資産合計	26,247	25,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,595	4,608
機械装置及び運搬具（純額）	6,004	5,875
土地	1,595	1,635
リース資産（純額）	12	10
建設仮勘定	404	1,338
その他（純額）	566	573
有形固定資産合計	13,178	14,040
無形固定資産	362	323
投資その他の資産	2,438	1,947
固定資産合計	15,979	16,311
資産合計	42,227	42,150
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,651	4,535
短期借入金	563	418
未払法人税等	492	8
賞与引当金	663	317
役員賞与引当金	29	－
その他	970	1,103
流動負債合計	7,370	6,383
固定負債		
役員退職慰労引当金	44	44
退職給付に係る負債	4,321	4,426
環境対策引当金	－	1
その他	22	20
固定負債合計	4,388	4,492
負債合計	11,759	10,875

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,442	5,442
利益剰余金	20,663	21,178
自己株式	△847	△847
株主資本合計	30,259	30,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	34
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	169	252
退職給付に係る調整累計額	△245	△172
その他の包括利益累計額合計	△49	114
非支配株主持分	257	386
純資産合計	30,467	31,274
負債純資産合計	42,227	42,150

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2018年４月１日 至　2018年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）
売上高	29,634	26,180
売上原価	24,076	22,356
売上総利益	5,557	3,823
販売費及び一般管理費	2,477	2,454
営業利益	3,080	1,369
営業外収益		
受取利息	3	8
受取配当金	13	12
仕入割引	15	13
受取補償金	29	20
為替差益	61	33
その他	26	9
営業外収益合計	149	97
営業外費用		
支払利息	5	5
売上割引	16	14
支払補償費	8	13
固定資産除却損	24	9
その他	4	4
営業外費用合計	58	47
経常利益	3,171	1,419
特別利益		
固定資産売却益	0	0
関係会社株式売却益	28	－
特別利益合計	28	0
特別損失		
投資有価証券売却損	38	－
特別損失合計	38	－
税金等調整前四半期純利益	3,161	1,419
法人税、住民税及び事業税	864	257
法人税等調整額	66	135
法人税等合計	930	393
四半期純利益	2,230	1,025
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,212	997

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2018年４月１日 至　2018年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年12月31日）
四半期純利益	2,230	1,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	7
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	1	36
退職給付に係る調整額	70	73
その他の包括利益合計	38	117
四半期包括利益	2,268	1,143
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,253	1,121
非支配株主に係る四半期包括利益	14	21

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。